

札幌市立札幌北中学校 第2回 進路説明会

令和7年度入学者選抜に向けて

内 容

- I 今後の進路日程の詳細
推薦入試・志望校決定・出願準備・Web 出願・
出願変更・合格発表・2次募集
- II 北海道有朋高等学校について
- III 志望校選択にあたって
- IV 特別な配慮を必要とする生徒の出願について

令和6年（2024年）11月7日（木）15:30～16:20

札幌市立札幌北中学校 体育館

今後の進路日程の詳細

11月からいよいよ本格的に動き出します。いろいろ複雑ですが、よく読んで理解し、これからの進路の動きに見通しをもってください。

1. 11/11(月)～15(金)・・・推薦希望者受付期間

公立高校入試、私立高校入試、ともに推薦希望者は担任の先生に申し出てください。保護者との確認も必要なのでお電話をいただくと幸いです。

- (1) 自己推薦希望者は、自己推薦書を作成します。ワープロソフトでも作成可となっていますが、変更してはいけないうちの大きさやフォントが簡単に変わってしまうという問題点があるので、本校では、清書はPDF版に手書きをするということで統一します。11/22(金)提出締切です。

自己推薦入試について

公立高校の自己推薦入試に挑戦する権利は誰にでもあります。学力検査がないから楽だと考えるのは間違いです。求められる資質として次の2点をよく考えた上で申し出てください。

- ① 各高校が発表している「入学者の受け入れに関する方針等」をよく理解し、自分の適性や将来の目標を説得力のある文章で自己推薦書を書くことができる。
- ② 面接試験で質問されたことに対し、自分の考えを的確に言葉で表現することができる。

例

学校名	学科名	推薦枠	入学者の受け入れに関する方針
札幌北陵	普通	20%	基本的な生活習慣が身に付いており、次の両方を満たす生徒 1 大学進学等、将来への目的意識をしっかり持ち、何事にも積極的で、絶えず向上しようとする熱意のある生徒 2 部活動や生徒会活動等にも積極的に取り組み、今後もリーダーシップを発揮し活躍できる生徒
札幌東陵	普通	10%	次の全てを満たす生徒 1 明確な進路目標を持ち、日々の努力を大切に積み重ね、様々な課題の解決に向けて自ら考え、主体的・協働的に学び続ける生徒 2 基本的な生活習慣を身に付け、生徒会活動やスポーツ、文化・芸術、社会貢献活動等に継続的に取り組み、個性を伸ばそうとする生徒

※1 倍率が高い自己推薦入試では不合格になることも多いです。不合格のショックを引きずってしまったり、再出願先をどこにするかで深く悩んでしまったりするケースもあります。安易な考えは禁物です。

※2 複数の学科が設置されている公立高校では、推薦入試でも第1志望の学科の他に、第2志望を認めています。第3志望は不可です。

※3 自己推薦書や入学者の受け入れに関する方針等の一覧は、北海道教育委員会HPや札幌市教育委員会HPに載っています。右のQRコードを御利用ください。



- (2) 学校長推薦希望者は、推薦依頼書を作成します。11/22(金)提出締切です。

対象は、上記の自己推薦の資質に加え、学校長推薦への強い希望や理由がある生徒に限ります。推薦依頼書は中学校の校長先生宛の文書です。中学校の推薦生徒にふさわしい人物かどうか、高校入学後に活躍できる学力があるかどうか等についての審査があります。審査で認められた者は校長先生との面接に臨みます。その結果、学校長推薦を得た者は、高校の推薦入試を受けることになります。

2. 11/19(火)～25(月) 教育相談週間にて、生徒は1人ずつ担任の先生と個別相談を行います。

次の①～③が資料になります。

- ① 2学期評定(5教科)+前期評定(4教科)で最新の評定での学習点(ランク)
- ② 学力テストABCの結果
- ③ 第4回進路希望調査(11/6 配付 11/15 締切)

※この期間に限らず、必要に応じて保護者を加えた3者懇談をする場合もあります。

3. 12/5(木)～11(水) 期末懇談会にて、出願手続依頼書を提出していただきます。

この場で、3者が志望校を確認して、「これでいきましょう！」と結論が出るように、少しずつ相談を進めていきます。本人の希望と学力などの状況がマッチしていない場合や、本人と保護者の意見が一致していない場合は、期末懇談会までに詰めておく必要があります。懇談の時間内で結論が見えず、もう少し考えたい場合でも、最終期限は全員の懇談が終わった日の翌日 12(木)となっていますので、あまり時間はありません。出願手続依頼書を提出後、Web 出願の準備として入力内容確認用紙を記入します。

4. 12/13(金)～ Web 申請、Web 出願の一部スタート！

- (1) 道立高校に出願する者は、Web 申請をしてください。12/19(木)までに点検用願書を提出してください。

出願の準備として、入力内容確認用紙を記入し、担任の先生が点検したものをしながら、その内容のとおりに入力していきます。学科の第1希望、第2希望、第3希望の欄などの内容を勝手に変更してはいけません。郵便番号、住所、電話番号を間違わないように慎重に入力します。最後まで終わったら、一時保存をして、A4 紙2枚に印刷をします。印刷した願書は担任の先生に提出して点検してもらいます。点検用願書の内容と入力内容確認用紙を照合して、不備があったら朱書きして 24(火)に返却します。

- (2) 市立高校へ出願する者は、Web 出願の準備として、入力内容確認用紙を記入し、担任の先生のチェックを受けて 24(火)までに返却してもらいます。

- (3) 私立高校の1月入試(推薦・単願・専願)に出願する者は、Web 出願をしてください。願書の提出期限は 12/20(金)です。

入力内容確認用紙の内容のとおりに入力してください。コースなどを勝手に変えてはいけません。入力が済んだら見直しをしてください。郵便番号を入力したら住所が途中で自動的に記入される場合がありますが、それで終わりではないので、丁目、番、号、マンション名、号室、などを自分で入力してください。必ず保護者の方に確認をしてもらい、最後に検定料を決済してください。出願情報を送信して検定料を支払うと、願書が印刷できるようになります。印刷した願書(受検票ではない)は担任の先生に提出してください。顔写真は、学校にあるものを使います。



5. 冬休み中にあること

- (1) 道立高校に出願する者は、返却された点検用願書を見ながら一時保存していた内容を修正した後、高校へ送信します。その後、確定した願書を印刷し、署名します。始業式の日 1/15(水)に担任の先生に「本物」と「点検用」を一緒に提出します。また、北洋銀行で検定料となる「北海道収入証紙」を購入します。全日制は 2200 円、定時制は 950 円です。願書には貼らずに、ファイルに入れて一緒に提出します。(切手のようなものです。ケースや袋に記名すると安心です。) 顔写真は学校にあるものを使います。

- (2) 市立高校へ出願する者は、Web 出願をしてください。入力内容確認用紙の内容のとおりに入力していきます。必ず保護者の方に確認をもらい、最後に検定料を決済してください。全日制は 2200 円、定時制は 950 円です。専用の振込用紙を使い、検定料を金融機関で振込むこともできます。

受検者情報を送信して検定料を支払うと、まもなく登録したアドレスに願書の PDF ファイルが届きます(高校側の処理が数日かかることがあります。)。それを印刷して署名し、始業式の日 1/15(水)に担任の先生に提出してください。顔写真は学校にあるものを使います。



- (3) 私立高校の2月入試に出願する者は、Web 出願をしてください。願書の提出期限は 1/20(月)です。

入力内容確認用紙の内容のとおりに入力してください。必ず保護者の方に確認をもらい、最後に検定料を決済してください。出願情報を送信して検定料を支払うと、願書が印刷できるようになります。印刷した願書(受検票ではない)は担任の先生に提出してください。顔写真は学校にあるものを使います。

▼注意 一度正式に決めたことを後になって変更することは、受験のルール上、簡単にはできません。

中学校では、提出していただいた出願手続依頼書のとおり事務手続きをすすめていきます。したがって、冬休み中に Web 出願をする際、志望校や学科・コースなどを勝手に変更してしまうと混乱が生じて大きな問題となる可能性がありますので、御注意ください。公立高校の場合は、出願した後に「出願変更」という手続きをすれば 1 回だけ変更が可能です。私立高校の変更は双方の高校に中学校からの連絡が必要になります。手続依頼書の内容を変更したい場合は、まず担任の先生に御相談ください。

6. 3学期の動きについて

1/15(水) 3学期始業式 印刷した公立願書(道立・市立)を担任の先生に提出してください。不備がないように何度も確認してください。(特に、保護者署名、北海道収入証紙)

1/16(木) 学年末テスト(5教科)

1/17(金)~26(日) この期間に、私立高校1月入試(推薦・単願・専願)が各校で実施されます。

1/20(月) 私立高校2月入試(一般)の願書提出 中学校で点検・写真貼付・とりまとめをします。

1/27(月) (1) 学年末評定が内定します。口頭で全員に通知します。

(2) 公立高校出願状況(倍率)発表 10:00 道教委 Web

1/28(火) 出願変更手続説明会(保護者向け) 16:30~



出願変更について 同一の課程のみ1回だけ変更できます。手続き期限は 2/3(月)16:00 です。

◆変更できない場合

例①東陵高校(全日制課程普通科)⇒札幌大通高校(定時制課程普通科) 逆も不可

例②国際情報、東商業、札幌工業などで、第1志望は変えずに第2,3志望を変える場合

倍率が発表されて、出願した高校が高倍率になっているのがわかると、誰でも動揺してしまいます。

その不安から出願変更をしたとしても残念ながら安心は得られません。当然、全市的に高いところから低いところへ流れる動きが出て、結局、例年並みの倍率に落ち着くことが多いです。

2/10(月) 公立高校推薦入試

2/12(水) 私立高校 A 入試下見 4時間授業・給食はありません。

2/13(木) 私立高校 A 入試 入試がない者は中学校に登校し、4時間授業(給食なし)です。

2/17(月) 私立高校 B 入試下見 4時間授業・給食はありません。

2/18(火) 私立高校 B 入試 入試がない者は中学校に登校します。平常授業です。

公立推薦入試の合格内定通知があります。

└─▶合格内定者は、入学確約書を作成し提出します。

└─▶不合格者は、再出願願を作成し、再出願の手続きをします。再出願先は、当初の高校でも他の高校でも構いません。残念な心境で、しかも非常に時間がない中で、冷静な判断が求められます。手続受付期間は 2/19(水)~21(金)16:00 です。



3/3(月) 公立高入試 下見 4時間授業(給食なし)

3/4(火) 公立高校入試①(学力検査) 入試がない者は中学校に登校します。4時間授業(給食なし)

3/5(水) 公立高校入試②(面接・実技) 入試がない者は中学校に登校します。5時間授業(給食あり)

3/11(火) 公立高校入試追検査 感染症などにより受検できなかった者が対象です。

3/12(水) 入学意思確認書を提出してください。入学の意思や合格を辞退する意思を確認する文書です。

3/14(金) 卒業式

3/17(月) 公立高校入試 合格発表 10:00 各高校 HP

└─▶ 合格者は 13:00 に登校し、入学意思確認書に署名します(玄関)。

└─▶ 不合格者のうち、進学先が未定のものだけ 14:00 に登校します。

3/18(火) 公立高校 追加合格通知 9:30～16:30

①高校から中学校に連絡が入る ②中学校から本人・保護者に連絡し入学意思を確認する

③中学校から高校へ返答する という流れです。したがって、公立不合格者は、連絡がとれなくて困ることのないようにお願いします。

各私立高校が定める入学手続きの期限がこの時期に重なります。私立高校に入学金を収めた後に追加合格の連絡が入り、私立へ入学しないことになっても入学金が返金されないこともありますので、私立高校の募集要項をよく御確認ください。

3/18(火)～25(火)

公立高校に得点開示を求めることができます。中学校から高校へあらかじめ連絡して、本人が高校へ行き、受験票で本人確認ができれば入試結果を教えてください。2次募集への出願を検討するのに役立ちます。

3/19(水) 公立入試 2次募集人員発表 9:00 各高校玄関前掲示 22:00 頃 道教委 HP

2次募集について

出願受付は 3/21(金)～24(月)16:30 です。当初入試の結果をもとに書類選考で選抜します。新たな検査(入試)はありません。募集人員に対して入学者が不足した場合のみ行われます。例年のようすで有無の予想はできますが、今のところ誰にも分かりません。ここ数年間で、近隣の丘珠高校、東豊高校、東陵高校は2次募集を実施したことがありますが、わずか数名の年も実施しない年もありました。合格発表は 3/27(木)です。

◆出願できない場合

1. 当初の公立入試に合格した者
2. 推薦入試で面接を欠席した者
3. 推薦入試で入学確約書を提出しなかった者

北海道有朋高等学校について

公立高校なのに入試日程が特別に遅く、他の公立高校の合格発表が終わってから出願が間に合うという特徴が人気の高校です。昼間定時制による単位制課程と通信制課程があります。単位制には自己推薦入試もあります(他公立高校と同じ日程です)。ただし、他の公立高校を受検した場合、2重出願にならないように注意が必要です。他の公立入試の可否が未定のタイミングでの出願はできません。

単位制課程(普通科と事務情報科)

出願受付 3/10(月)～3/18(火)

Web 申請⇒印刷して中学校を通して提出

3/24(月) 入試(面接・作文)

3/28(金) 合格発表

通信制課程(普通科)

出願受付 2/14(金)～3/19(水)

Web 申請⇒印刷して中学校を通して提出

書類審査のみです。入試はありません。

3/28(金) 合格発表

どちらの課程も合格しやすそうな感じがありますし、自由な校風で制服もありません。しかし、自分で授業やレポートの予定を立てて各教科の学習をすすめ、生活をコントロールして、卒業するのに必要な単位を取っていくことが想像以上に難しいようです。在籍はしているが、授業をほとんど受けていない者やレポートを出さない(出せない?)者も多くいると聞いています。高校に入学してからの生活をどのようにしていくかを具体的に考えることはとても大切なことです。

HP はこちら→



7. 志望校選択にあたって

①公立1つ＋私立A日程1つ＋私立B日程1つ(＋その他の高校)

公立高校の入試は、定員の70%を学習点(評定ランク):学力点(入試)=1:1で扱います。そして残りの30%のうち、15%を9:1や6:4など学習点重視で、15%を4:6など学力点重視で合否判定します。だから、「ランクは高いけど当日点がとれなかった」や「ランクは低いけど当日点をたくさんとった」という場合に合格できる可能性が高くなります。その比率は各高校が設定し、教育委員会HPの学校裁量一覧表で発表されています。また、受験者がたくさん集まって倍率が高くなればなるほど、実力を発揮しても不合格になってしまう可能性が高くなります。例えば、英藍高校は定員280のところ、自己推薦で47名が合格し、残り233に一般入試で299名が出願したので、 $299 \div 233 = 1.28$ 倍となります。66名が不合格になります。倍率はその年によって変動するものですが、平岸や国際情報などの人気校は低くなることはほとんどなく、高い倍率になることを覚悟しておくべきです。

私立高校の入試は、公立高校に比べて学習点(評定ランク)を重視する傾向が強いです。合格するための最低ランクは過去の入試結果から予想できます。「出願資格〇ランク以上」として公表している高校もあります。ですから、学習点の条件をクリアしていれば、入試点をそれほど気にしなくても合格できると考えてよいです。また、「特進」など上位コースでは、学習点が足りなくても当日点が高ければ合格できる場合があります。残念ながら当日点が伸びず不合格になってしまった場合は「総合」などの下位コースで合格になります。

以上のことから、不確定要素の多い公立高校入試に比べて、ランク重視の私立高校は、いわゆる「すべり止め」になり得ます。私立高入試A日程・B日程のうち、1校は安心できる志望校を選んでおいて、もしもの時に備えておくべきです。

例1 いわさくんの場合



公立H高校が第1希望だが、自分はGランクでぎりぎりいけるか。

200点とれば合格できるはず。勝負だ！

私立A日程は、Y高校に出願。ランク重視でH以上だから、大丈夫。すべり止め。

私立B日程は、出願しなくていいかな。

例2 まいこさんの場合



第1希望の公立T高校を自己推薦で受検する。たとえ自己推薦×でも再出願して一般入試でリベンジするつもり！どうしてもここで英語の勉強がしたいの。

私立A日程は、R高校に出願。第3希望のすべり止め。

私立B日程は、S高校の特進コースなら第2希望だけど、総合コースならR高校の方がいいな。

例3 たくやくんの場合



第1希望はK高専。工業系&寮生活が自分に合っている。合格できるかは倍率にもよるし五分五分。勉強がんばろう。

第2希望は近くの公立H高校。部活が魅力的。学力的には合格の可能性が高いから、すべり止めとしてもOK。私立は受けなくてよいだろう。

入力内容確認用紙(道立高校用)

1. メールアドレス(申請用の URL)		@
メールが届いたら、メール本文に記載された URL にアクセスし、入力フォームに入る。		
2. 出願情報を入力する。		
(1) 出願区分	○一般 ○推薦 ○連携型	
(2) 出願する高等学校		
(3) 出願課程	○全日制課程 ○定時制課程	
(4) 出願学科(第1志望) 科	(5) 出願学科(第2志望) 科	(6) 出願学科(第3志望) 科
次の場合は「 - 」(ハイフン)を選択する。 1. 普通科しかなく第2・3志望は選択できない場合。複数の学科が設置されているが、希望しない場合。 2. 推薦入試の場合、第2志望は選択できるが、第3志望は選択できない。		
(7) 姓	(8) 名	
(9) 姓(ふりがな)	(10) 名(ふりがな)	
(11) 生年月日	平成 年 月 日	
(12) 現住所 〒()	例：札幌市東区東苗穂〇条〇丁目〇番〇号〇〇マンション〇号室	
(13) 出身(在籍)中学校		
(14) 中学校卒業(卒業見込)年月日	令和 年 月 日	
保護者等	(15) 姓	(16) 名
	(17) 姓(ふりがな)	(18) 名(ふりがな)
	(19) 現住所 〒()	
	(20) 電話番号 - -	
	(21) 出願者との関係 父 または 母 (署名できる方)	

3年 組 氏名

点検印

(22) 入学者選抜における特別な配慮の有無		○有 ○無
病気やけが等を申請している場合以外は無を選択		
(23) 全日制の普通科へ 就学するときの区分	次のようなプルダウンから選択します。 1. 通学区域規則第2条による就学 2. 通学区域規則第3条第1号による就学 3. 通学区域規則第3条第2号による就学 4. 通学区域規則第3条第3号による就学 5. 通学区域規則第4条第1項第1号による就学 6. 通学区域規則第4条第1項第2号による就学 7. 通学区域規則第4条第1項第3号による就学 8. ()	
石狩管内の全日制普通科を 志望する場合は1を選択する		
全日制普通科以外の場合は 何も選択しない		
(24) 備考	何も入力しない	
※ 北海道有朋高等学校に出願する場合はさらに追加項目があります。		

入力できるのは常用漢字です。例：高→高
※ 署名欄に手書きするときには戸籍上の漢字を楷書で書きます。

入力する数字はすべて半角です。

自己推薦書 (全日制課程受検者用)

令和 年 月 日

北海道

高等学校長 様

在籍中学校名

出願者署名

私は、貴校の全日制的課程の

科へ、次の理由により自己推薦します。

1 入学を志望する理由や抱負について

(この学校に入学したい理由や入学してから自分がしたいと思うことなどについて、この学校のスクール・ポリシーを踏まえて記入してください。)

2 中学校の各教科 (選択教科を含む。) や総合的な学習の時間における学習について

(中学校で学習したことについて、自分が特にアピールしたいことを具体的に記入してください。)

3 中学校在学中における学校内外の諸活動について

(中学校生活の中で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動、取得した資格や検定結果、その他の活動等を通して学んだこと、自分が特にアピールしたいことなどを具体的に記入してください。)

(注) 1 出願者が記入、作成してください。なお、「出願者署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよいですが、欄の大きさ等を変更しないでください。また、文字のフォントは MS 明朝、大きさは 10.5 ポイントを基本としますが、大きさについては出願者の任意とします。

2 ※印の欄は記入しないでください。

令和 年 月 日

札幌市立札幌北中学校
校長 美田 学秀 様

3年 組 番 生徒署名

保護者署名

推薦依頼書

私は、下記の高等学校・学科の推薦入試を受検したいので、推薦して下さるよう、よろしくおとりはからいください。

なお、推薦を希望するにあたって、私自身の目標達成のためにも、学校、先生方の期待に応えるためにも、一生懸命努力することを約束いたします。

記

推薦入学を希望する高等学校、学科、コース

※部は私立高校の「部活動推薦」のみ記入

_____	高等学校	全日制課程	_____	科
(		)	コース	※ () 部

①この学校（学科）を希望した動機・理由	
②中学校で頑張ってきたこと （学習・生活・委員会・部活動など）	
③高校入学後の抱負、力を入れたいこと、高校卒業後の進路希望や目標	
④保護者の意見	

令和 年 月 日

札幌市立札幌北中学校

校長 美田 学秀 様

3 年 組 番

生徒署名

保護者署名

出願手続依頼書

私は下記の学校、学科への出願を希望しておりますので、出願の手続きを進めていただけるようお願いいたします。

記

- 1 公立高等学校 ※「第2志望」「第3希望」は、願書への記入が可能な場合のみ記入してください。

入試区分 自己推薦 一般		高等学校 全日制課程 定時制課程			
第1	科	第2	科	第3	科

- 2 私立高等学校

A	学校長推薦 自己推薦 単願 一般	高等学校 科
B	学校長推薦 自己推薦 単願 一般	高等学校 科
その他	受検日 月 日	高等学校 科

- 3 その他の学校（専門学校・各種学校など）

学校長推薦 自己推薦 単願 一般	校 コース
---------------------	-------

※ 学校名や学科名は正式な名称で記入してください。入試区分は該当するものを○で囲んでください。コースやクラスは該当するものがあれば記入してください。黒ボールペンやサインペンで書いてください。署名は必ず本人が書いてください。

入学意思確認書

提出締切 3/12 (水)

令和 7 年 3 月 日

札幌市立札幌北中学校
校長 美田 学秀 様

3 年 組 番 生徒署名

保護者署名

私は次のように進路を希望しますので、入学意思の報告及び入学辞退の手続きをお願いいたします。

1. 公立推薦合格内定、私立単願入試合格などで、すでに進学先が決定している人

高等学校	制	科	コース
------	---	---	-----

に進学します。

2. 公立高校の一般入試を受検した人

受検校	高等学校	制	科	コース
-----	------	---	---	-----

【A】公立高校に合格した場合

以下の①～④のうち、該当する〔 〕に○を記入してください。

- ①〔 〕上記の高校に入学します。
②〔 〕上記の高校に合格しても、入学を辞退します。
③〔 〕「第2志望」の 科で合格した場合は、入学を辞退します。
④〔 〕「第3志望」の 科で合格した場合は、入学を辞退します。

入学を辞退する人は、入学辞退届を提出してください。この場合、公立高校の2次募集には出願できません。

【B】公立高校に不合格だった場合

(私立)	高等学校	制	科	コース
(私立)	高等学校	制	科	コース

以下の①～③のうち、該当する〔 〕に○を記入してください。

- ①〔 〕公立高校の2次募集があれば出願します。
②〔 〕有朋高校の（単位制・通信制）に出願します。
③〔 〕私立高校の（2次募集・通信制）に出願します。

2次募集の有無、通信制の募集期限等については中学校にお問い合わせください。

※公立高校の追加合格は、3月18日（火）9:30～16:30に中学校に通知されます。すぐに中学校から連絡をしますので、この時間帯に確実に連絡がとれる電話番号を以下に記入してください。上記①〔 〕に○を付けなかった人にも連絡しますので、改めて受諾するかしないか返答してください。

【連絡先電話番号】 本人： 保護者：

重 要

17日（月）の合格発表後、合格者は13:00～13:30に登校してください。進路未定者は14:00以降に担任の先生と連絡を取り、必要に応じて登校してください。上記「1」の人や「公立高校は不合格だったが上記2【B】の通り私立高校などに進学する人」は登校しません。

《入学意思最終確認》 上記 2. のとおり、変更はありません。

令和 7 年 3 月 17 日 生徒署名

公立高等学校を受検する生徒・保護者の皆さんへ

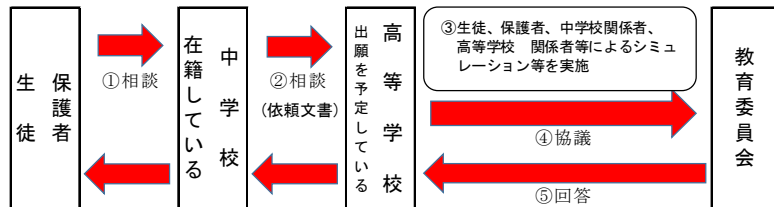
～特別な配慮を必要とする生徒の出願について～

入学者選抜における学力検査や入学後の学校生活等について、生徒や保護者が特別な配慮を希望する場合の対応や流れなどは、次のようになっています。

◎ 出願前に行うこと（流れ）

- ① 生徒・保護者から中学校へ相談
 - ・在籍している中学校の先生に学力検査や面接、入学後の学校生活において必要とする特別な配慮について相談します。
- ② 中学校から高等学校へ相談
 - ・中学校は、生徒・保護者から相談のあった特別な配慮の内容や中学校で配慮している事項をまとめ、生徒が出願しようとしている高等学校に相談し、関係文書を送付します。
- ③ シミュレーション等の実施
 - ・特別な配慮の内容や実施方法が適切であり、実施に当たって支障等が生じないよう、高等学校と中学校が詳細を確認します。
 - ・また、生徒・保護者、中学校及び高等学校の関係者等が一堂に会し、要望の内容について確認したり、シミュレーションを実施したりします。
- ④ 高等学校と教育委員会との協議
 - ・高等学校と教育委員会が特別な配慮について協議し、内容や実施方法等を確定します。
- ⑤ 高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ回答
 - ・高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ特別な配慮の内容について伝えます。

※ 出願の際、入学願書の「入学者選抜における特別な配慮の希望の有無」の欄の「有」を選択してください。



◎ 学力検査等においてこれまで実施した特別な配慮の例

受検者の状況	特別な配慮の内容
聴覚に障がいのある場合	・監督者の指示や英語の聞き取りテストが聞き取りやすいような座席の配置 ・補聴器の使用 など
視覚に障がいのある場合	・拡大鏡の使用 ・問題用紙の拡大 など

肢体不自由の場合	・車いすの使用 など
糖尿病の場合	・室外での補食 ・保健室でのインスリンの注射 など
入院している場合	・入院先の病院での受検 など
日本語指導が必要な場合	・問題用紙等へのルビ振り など
その他	・通常の受検室で受検することが困難な受検者に対する別室での受検 ・当該生徒及び保護者の要望により特別な配慮が必要と考えられるもの など

◎ 特別な配慮に関するQ＆A

- Q 1 特別な配慮を要望すると可否に影響を与えますか。
- A 1 入学者の選抜は、実施要項で示された資料（個人調査書、学力検査の成績、面接の結果等）を総合的に評価して行いますので、特別な配慮が可否に影響を与えることはありません。
- Q 2 特別な配慮について、いつまでに中学校へ相談すればよいですか。
- A 2 出願しようとする高等学校が未定の場合であっても、公立高等学校へ出願しようとする場合は、できる限り早く相談してください。可能な限り出願の受付前に協議を終えることができるようお願いします。
- Q 3 出願後に怪我等により特別な配慮が必要となった場合、特別な配慮をしてもらえますか。
- A 3 怪我等により通常の受検が困難になった場合、速やかに中学校に相談してください。在籍中学校長が出願先の高等学校長に事情を説明し、当該高等学校長は、教育委員会と特別な配慮について協議します。

◎ 相談窓口

- 次のいずれかに相談してください。
- ・出願先の高等学校
 - ・札幌市教育委員会学校教育課程担当課
電話(011)211-3891
 - ・札幌市教育委員会学校教育部学びの支援担当課
電話(011)211-3851
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/senbatu/index.html>